

ガス採集硝子管

～使い方ガイド～

「ガス採集硝子管」とは

水中でサンプル容器を開栓し、**容器内のガスを捕集する**のに使用します。通常だと1サンプルではガス量が足りないような、ガス量の少ないサンプルの測定に向いています。

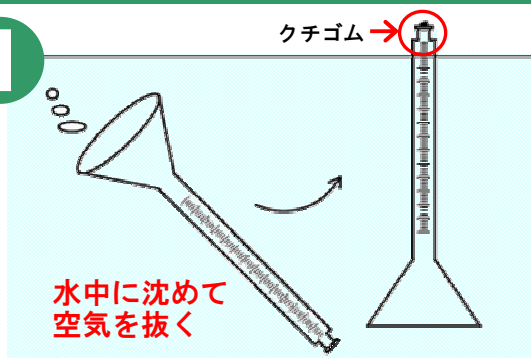
捕集したガスの総ガス量と残存酸素濃度から**残存酸素量**も算出できます。

$$\text{残存酸素量 (ml)} = \frac{\text{総ガス量 (ml)} \times \text{残存酸素濃度 (\%O}_2\text{)}}{100}$$



使い方

1



水中に沈めて
空気を抜く

水を入れた水槽またはバケツを用意し、ガス採集硝子管を水中に沈め、ガス採集硝子管の中の空気を完全に抜く。

完全に空気が抜けたら、ガス採集硝子管の先端にクチゴムを取り付ける。

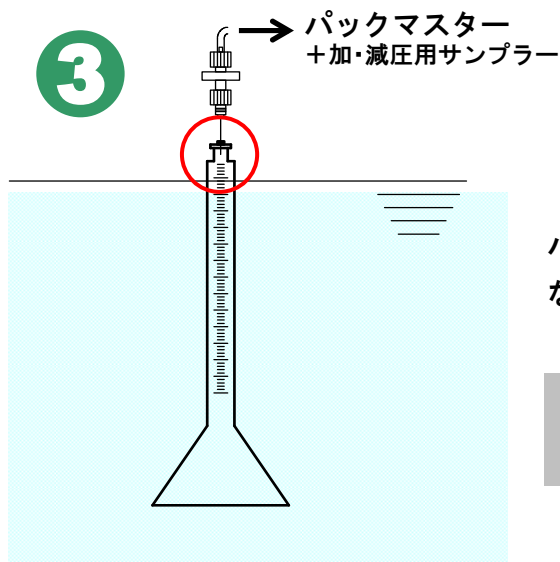
2



サンプル
ガス捕集

缶などのサンプル容器を水中に入れ、ガス採集硝子管の下に移動させ、サンプル容器を開栓する。サンプルガスがガス採集硝子管の外に出ないように注意しながら全ガスを捕集する。

3



パックマスターの注射針を差し込み、水を吸い込まないように注意しながら測定する。

※硝子管内との圧力差があるため、パックマスターと「**加・減圧用サンプラー**」を併用して測定する。